

酒生いきいきバス通信

酒生地域コミュニティバス
運行協議会会報 第4号
発行:平成31年3月5日
酒生地域コミュニティバス運行協議会

4月1日から運行ルートが一部変わります

くわばら皮膚科の移転に伴い、「くわばら皮膚科クリニック」バス停を廃止し、この部分の運行ルートが一部変更されます。なお、時刻関係は一切変更ありません。

2019年4月1日より「くわばら皮膚科クリニック」バス停が廃止になり、運行ルートが一部変更になりました。

既存路線との接続については、京福バスホームページ(時刻表)
https://bus.keifuku.co.jp/timetable/search_rosen_list.php
をご覧ください。
京福バス福井営業所(☎0776-54-5171)にお問い合わせください。

バス運行協議会からのお知らせ

●回数券の入手方法

4月1日から公民館で購入できるようになります。1000円で11回乗車できて、お得です。また、従来通り車内販売もしています。

●乗客数のデータ

4月から12月までの乗客数を、平成27年から比較してみると次の通りです。

平成30年：5,922人、平成29年：6,606人、平成28年：5,740人、平成27年：5,945人

ほぼ例年通りの結果ですが、皆さんの更なるご利用をお願いします。

●運転免許返納者へのバスチケット1万円分進呈

引き続き実施中です。詳しくは公民館までお問い合わせください。



バスが北陸の名産品やって?

現在、日本で生産されているバスの約7割、観光バスは全量が、石川県と富山県で生産されているって知ってますか? 福井県でないのは残念ですが、セーレンがシート生地を供給するなど、福井県も経済効果を得ております。前号でも紹介された皆様お馴染みの日野ポンチョも石川産です。日本のバス製造の歴史を簡単に迎ってみましょう。

お断りですが、ここで「バス」と言っているのは、皆様がふつうに思い浮かべる観光・路線バスです。もう少し詳しく言いますと、バスとしての機能を追求してエンジンを後方に搭載しているバスです。トヨタ・コースター(写真①)に代表される、エンジンを前



①トヨタ・コースター

方に搭載するマイクロバスは含みません。さて、1950年代にまで遡りますと、その頃は、トラックメーカーから供給されたシャシにバスボディーを架装する車体メーカーが全国に十社以上存在しておりました。ボンネットバス(写真②)の時代です。そして、バス車体メーカーの前身はほとんどが航空機の製造に関わっておりました。例えば、石川県はジェ



②ボンネットバス

イ・バス小松工場の歴史を辿ると金澤航空工業に、富山県の三菱ふそうバス製造は呉羽航空機に辿り着きます。

日本のバス生産は60年代後半にはリアエンジン形式に移行し、高度成長と共に年産1万台を超す産業に成長しました。しかし、その後はマイカーの普及と共に新車需要は減少の一途で、それに伴って独立系の車体メーカーは廃業に追い込まれ、シャシメーカーが関係の深い車体メーカーの経営を支えるために子会社化する構造となりました。バス製造会社は2004年時点で、いすゞバス製造(宇都宮)、日野車体工業(小松)、三菱ふそうバス製造(富山)、そして唯一独立系の西日本車体工業(北九州)の4社となりました。そして同年10月にいすゞバス製造と日野車体工業が合体してジェイ・バスとなり、観光バスは小松工場に集約。西日本車体工業は2010年に解散したことにより、国内でバスを製造する会社は2社、3工場となり、現在に至ります。

と、バス衰退の歴史を語りましたが、国内バス新車需要は2011年の約4千台を底にして持ち直し、現在は更なる安全性向上、自動運転など、多様な議論が起きております。バス製造産業が北陸の経済成長の一端を担ってゆくことを祈っております。

清水和治(元ジェイ・バス社長、編集担当の旧友)